

イリーガルビュー - Real Time and Remote Technology -		Illegal View	
		Professional	Standard
■ 記録機能			
コンピュータ単位による設定およびグループ単位による管理が可能		■	■
画像記録	コンピュータの起動中より画面を記録	■	■
マルチモニタ記録	複数のモニタを使用している環境の画面を記録	■	■
リモートデスクトップ記録	リモートデスクトップ、ターミナルサービスのセッション画面を記録	■	■
オフライン記録	ネットワーク未接続時に記録機能が動作	■	■
記録間隔	1秒～9999秒に記録間隔を変更可	■	■
画面の色	モノクロ、16色、256色、High Color(16bit)、True Color(24bit)、コンピュータ側の設定色	■	■
スクリーンセーバ	スクリーンセーバ起動中の画面記録を無効可	■	■
画像再生	再生、逆再生、再生速度(6段階)、再生サイズ・コンピュータ側解像度で再生	■	■
テキスト	デスクトップに表示された文字列を記録	■	■
コマンド	コマンドプロンプト上でのコマンド実行を記録	■	■
キーボード	デスクトップ上でのキーストロークを記録	■	■
マウス	デスクトップ上でのマウスクリックを記録	■	■
アプリケーション	アプリケーションの起動、終了を記録、専用コードで動作アプリケーションを識別	■	■
ファイル利用	ユーザ、アプリケーション、OSなどがアクセスしたファイル名を記録	■	■
状態	ユーザのログイン、ログオフ、シャットダウンなどコンピュータの状態を記録	■	■
リソース	ハードウェア、ドライブ、プリンタ、アプリケーションなどコンピュータ情報を記録	■	■
カメラ	コンピュータのビルトインカメラまたは Web カメラで撮影した画像を記録	■	■
■ リアルタイム表示機能			
コンピュータ単位およびユーザ単位による表示が可能		■	-
リアルタイムモニタ	コンピュータの現在の記録画面を順次表示(0.5秒～5秒の範囲内で記録間隔を変更可)	■	-
リアルタイムカメラ	コンピュータのビルトインカメラまたは Web カメラで現在の映像を順次表示	■	-
リモートリアルタイムモニタ	リモートデスクトップの現在の記録画面を順次表示	■	-
■ 検索機能			
コンピュータ単位およびユーザ単位による検索が可能		■	■
サーバ検索	イリーガルビューサーバが管理している履歴・アラーム情報の検索	■	■
■ アラーム機能			
コンピュータ単位およびユーザ単位による設定が可能		■	■
システム	イリーガルビューサーバ・クライアントの運用に関わる動作を検知	■	■
アプリケーション	アプリケーションの起動の検知、起動の禁止、アプリケーション実体を識別	■	-
ファイルアクセス	ファイルへのアクセスを検知、ファイルへのアクセスの禁止	■	-
リソース	コンピュータ・リソースの変更を検知	■	-
キーワード	デスクトップ画面上でのテキスト描画を検知	■	-
リムーバブルドライブ	リムーバブルドライブの接続を検知、ファイルへのアクセスを禁止	■	-
ログイン	コンピュータへのログインとログインユーザを検知	■	-
タイム	指定した時間に各種制限や通知を実行	■	-
管理者通知	管理コンソール上にアラーム内容を通知、Eメールにアラーム内容を送信	■	■
ログ記録	アラーム内容を記録	■	■
動作変更	指定した記録条件へ変更、コンピュータの画面をロック	■	-
ユーザ通知	対象のコンピュータにメッセージダイアログを表示	■	-
■ クライアント保護機能			
イリーガルビューシステムの無効化対策		■	■
ステルス	クライアントプログラムはタスクマネージャ・エクスプローラへは非表示および停止不可	■	■
起動状況	クライアントプログラム動作中のアンインストールは不可	■	■
オペレータ	クライアントプログラム起動不可時にコンピュータの起動を制限	■	■
起動モード制限	セーフモードでの Windows 起動後にコンピュータの起動を制限	■	■
ファイアウォール対策	イリーガルビューサーバへ接続不可時はネットワーク資産の利用を禁止	■	■
■ オプション機能			
様々な拡張機能を設定		■	■
ビデオエクスポート	記録した画像を AVI 形式にエクスポート	■	■
マルチアラーム	既存のアラーム条件を連続的に満たすことによりアラームを発生	■	-
コマンドライン	コマンド実行でコンピュータの画面をロック	■	■
レポート	オリジナル帳票を印刷	■	■
■ ライセンス種類			
暗号化方式の選択が可能		■	-
暗号化方式	独自の暗号化方式または PCI-DSS 準拠の暗号化方式を選択可能	■	-

イリーガルビュー <Professional/Standard> サーバ(*2)	
対応 OS(*1)	Windows Server 2022, Windows Server 2019, Windows Server 2016, Windows Server 2012R2, Windows 11(*3), Windows 10(*3)
推奨環境(+)	< CPU : マルチコア以上 > < RAM : 2GByte 以上(RDP セッションを記録する場合は別途[2×仮想クライアントライセンス]MB を利用) > < HDD : サーバプログラムの格納に 20MByte、保存が見込まれる履歴データ量(*4)(*5)(*6)(*7)(*8)、データベースの格納に 500MByte/個(*9)>
<small>(*1)各 OS の日本語版/英語版、32bit 版/64bit 版に対応しています。(*2)サーバ導入前に Microsoft 365 Access Runtime の 64 ビット版または 32 ビット版の導入が必要です。(*3)サーバ(用途 OS ではないため、本製品導入後のネットワーク障害は免責といたします。(*4)サーバ PC のディスク容量がなくなった場合、クライアントからの転送データは記録しません。(*5)1 クライアントあたり 1 日の最大記録サイズは 4GByte を上限とし、以降のクライアントからの転送データは記録しません。(*6)画面サイズ 1,024x768 を 8 時間・16 色・5 秒間隔で記録した場合、少なくとも約 30MByte が記録容量の目安となります。(*7)ひとつのサーバには最大 5,000 クライアントを登録することができます。(*8)動作状況により操作画像や履歴を取得することが困難な場合があるため、全取得を保証するものではありません。(*9)データベースファイルは 500MByte 毎に複数個作成されます。</small>	
イリーガルビュー <Professional/Standard> クライアント	
対応 OS(*1)	Windows Server 2022, Windows Server 2019, Windows Server 2016, Windows Server 2012R2(*2), Windows 11, Windows 10
推奨環境(+)	< CPU : マルチコア CPU > < RAM : 1GByte 以上(RDP セッションを記録する場合は別途[400×セッション数]KB を利用) > < HDD : クライアントプログラムの格納に 20MByte、オフラインモードの設定値(*3)(*4)(*5) >
<small>(*1)各 OS の日本語版/英語版、64bit 版に対応しています。(*2)Windows 8.1、Windows 7、Windows Server 2008 R2 以前の OS ならびに 32bit 版 OS は動作保証の対象外となります。カスタマイズ等のご要望につきましてはご相談ください。(*3)オフライン記録中にクライアント PC のディスク容量がなくなった場合、クライアントプログラムは記録を停止します。(*4)動作状況により操作画像や履歴を取得することが困難な場合があるため、全取得を保証するものではありません。(*5)OS のシステムドライブに記録しますので、空き容量にご注意ください。</small>	

(+)推奨環境の補足
 1) ハードウェア環境について
 ■物理/仮想環境が、弊社製品の稼働に必要なスペックであること。■物理/仮想環境にて、弊社製品が対応する OS が正常に動作すること。■弊社製品が対応する OS が、物理/仮想環境により OS の情報等を書き換えられていないこと。
 2) サポート範囲について
 ■物理/仮想環境について、そのすべてに対して弊社製品を動作確認することは困難です。そのため、物理/仮想環境固有に発生した事象については免責といたします。■物理/仮想環境固有に発生した事象についての対応は試みますが、問題の特定・解決・回避、製品の改修などを実現することが不可能な場合もありません。■物理/仮想環境固有の事象について、弊社にて必要と判断した場合には公表いたします。